

科目名	保育原理			担当教員	西川 正晃
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	教諭（講師を含む）				
実務経験を生かした授業内容	保育現場の経験を活かし、子ども理解の実際や環境構成・援助の在り方などについて具体的に示していく。				
到達目標及びテーマ	(1)保育の意義と基本的理論について学ぶ (2)子どもを尊重した保育のあり方・保育者の専門性について探求する (3)子どもにとって環境がどのような意味があるのか探求する (4)保育内容・方法についての考え方を学ぶ				
授業の概要	保育所保育指針・幼稚園教育要領に基づき、幼児教育・保育の意義、内容について基礎的な理論を学ぶ。保育思想、歴史の変遷について理解し、子どもと保育者の相互主体的な関係性が中心となる保育のあり方について、保育形態、指導方法、内容について考察する。また、乳幼児の発達の特徴と保育内容についての関係性についても理解する。				

授業計画	
第1回	子どもと生活をつくることについて 授業ガイダンス（授業のねらい、到達目標、授業進行、評価について）
第2回	保育とは何か：.保育とは何をするのか、保育と養護および教育の関係 【事前：保育者になりたい理由を書きあげる】
第3回	保育とは何か：保育者の専門性について【事前：どんな保育者になりたいか書きあげる】
第4回	保育の基盤としての子ども観：子ども観とは何か、保育者の子ども観を形づくるもの【事前：子どものイメージを書きあげる】
第5回	保育の基盤としての子ども観：子ども観と保育内容・方法 【事前：あなたがつくる園の保育目標を3つ書きあげる】
第6回	子ども理解から出発する保育：保育における「子ども理解」とは【事前：あなたが他人を理解するときの方法を書きあげる】
第7回	子ども理解から出発する保育：子どもの発達を捉える「まなざし」、子ども理解を深めるために【事前：「まなざし」と「めつき」の違いについて考えを書きあげる】
第8回	子どもが育つ環境：子どもが育つ環境とはどのようなものか【事前：あなたがつくりたい園を具体的に書きあげる】
第9回	子どもが育つ環境の理解：物的環境・人的環境の関連を考える、時間について、子どもが育つ環境【事前：あなたが楽しかった園の環境を書きあげる】
第10回	保育内容・方法の原理：保育の基本と保育内容・方法、保育場面から考える内容・方法【事前：どんな保育が実践したいか書きあげる】
第11回	保育内容・方法の原理：子どものための保育内容【事前：保育内容とは何か具体的に書きあげる】
第12回	保育内容・方法の原理：子どものための保育方法【事前：あなたが夢中になってくり返している事を書きあげる】
第13回	保育の計画と実践の原理：保育における計画【事前：保育には計画が必要か必要でないか考えを書きあげる】
第14回	保育の計画と実践の原理：保育計画にはどのようなものがあるか、実践に生きる計画【事前：保育の計画を一部用意する】
第15回	総括、保育の原理からみる保育実践の創造【事前：これまでの学習の資料の整理】 レポート

事前学修		シラバスの各回で示したアサインメントを必ず行う。
事後学修		事前学修でのアサイメントを視点として、深まったこと、新たに理解したことをまとめる。
フィードバックの方法	・授業後の振り返りシートへのコメントの記入など、授業者への学習支援を丁寧に行う。・振り返りシートなどから見えてきた疑問や質問などについては、個別的是もちろん、必要であれば全体でも振り返るようにする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	40%	本授業で学んだことを筋道を立てて活用し、構成することが出来るかどうかで評価。
上記以外の試験・平常点評価	60%	毎時授業後の理解度を評価。主体的で対話的な学習態度であるかどうか評価。自己評価。

定期試験		0%		実施しない	
補足事項					
教科書					
書名		著者	出版社	ISBN	備考
最新保育講座 1	保育原理	渡邊英則他 編著	ミネルヴァ書房	978-4-623-08027-4	特になし
参考資料					